

# うおずみ学講座「自然・環境」

## 「第1回 生物多様性あかし戦略と里山について」

日時	2011年7月10日(日) 9時30分～12時30分	晴れ
場所	清水高校・清湧館⇄金ヶ崎公園	参加者 39名

### 講座案内のチラシ

**自然・環境フォーラム** 【里山】

学んで、見て、一緒に考えよう!!

**つなごう生きもののネットワーク**  
— 生物多様性明石戦略 —



期日：2011年7月10日(日) 雨天決行  
場所：県立明石清水高校・同窓会館「清湧館」2F 大講義室  
時間：午前9時30分～12時30分

参加対象：どなたでも参加できます 参加費無料

内容：①生物多様性あかし戦略と里山について 80分  
(明石、魚住住民の役割の)  
・・・兵庫県立大教授 服部 保氏  
徒歩にて金ヶ崎公園に移動(約20分) \*雨天の場合移動なし  
②金ヶ崎公園での取り組みについて 30分  
講義終了後、公園内散策 30分  
・・・兵庫県立大助教 黒田 有寿茂氏  
徒歩にて明石清水高校に移動(約20分) \*雨天の場合移動なし  
③主催者あいさつ、今後の取り組みについて 10分  
・・・エコウイングあかし 運営委員から

主催：エコウイングあかし  
共催：明石市地球環境課、緑化公園課、県立明石清水高校  
うおずみん・ふるさと創生プロジェクト  
(財)金ヶ崎コミュニティ協会

問合せ先：明石市地球環境課 (TEL 078-918-5029)

(注)会場へは出来るだけ公共交通機関(たこバス)でお越しください。  
JR魚住駅北口 @青葉台ルート 857→909(守池住宅 下車)

2011年3月「生物多様性あかし戦略」が全国で6番目に策定される。また、その地域版として人博の全面協力で「生物多様性・金ヶ崎公園戦略」も出来上がる。これはおそらく全国でも一・二番目と思われる。これからは戦略をどう推進するかが大きな課題、特に地域住民の役割が非常に大切である。今回、そのことを広く理解してもらおう意味でこのフォーラムを開催した。主催はエコウイングあかしで清水高校、うおずみんふるさと創生プロジェクトなどが共催した。



清水高校「清湧館」



服部先生の講義



公園への通り道 田んぼのあぜの植物、街路樹について 黒田先生から



### ①生物多様あかし戦略とは？(服部先生から)

- ・生物種の絶滅と生物多様性保全  
身近な生物が減少し絶滅の危機に  
→秋の七草やメダカ、ゲンゴロウ、ヤモリなど  
年々絶滅危惧者が増加  
絶滅の要因→人間の様々な活動による
- ・生物多様性保全の国際的取り組み  
希少種の保全から生物多様性保全へ  
国際会議→国家戦略→県→明石市の戦略
- ・あかし戦略の中から里山について  
里山の現状、絶滅する里山の原因  
今後の里山林のあり方  
→市民参加型の一手法の紹介(多様性夏緑高林方式)

\* 現在金ヶ崎公園にてこの方式で活動中)

### ②生物多様性金ヶ崎公園戦略とは？(黒田先生から)

- ・金ヶ崎公園は明石で貴重な里山の拠点・・・兵庫県レッドデータブックCランク
- ・金ヶ崎公園の自然・生きものの特徴、公園全体の特徴と重要性  
→公園への道中、公園内で整備前、後の様子を観察しながら説明を聞く
- ・生物多様性保全に向けた活動について  
→植生調査に基づく管理、学びのプロセスを重視した管理を実践  
→環境学習、生涯学習の場としても活用



まとめ：暑い最中、各方面から多くの方に参加してもらいました。本当にお疲れ様でした。このフォーラムを通じて、現状を知り、現場を確認し、感じ、色々考えてもらう良い機会になったのではと思います。